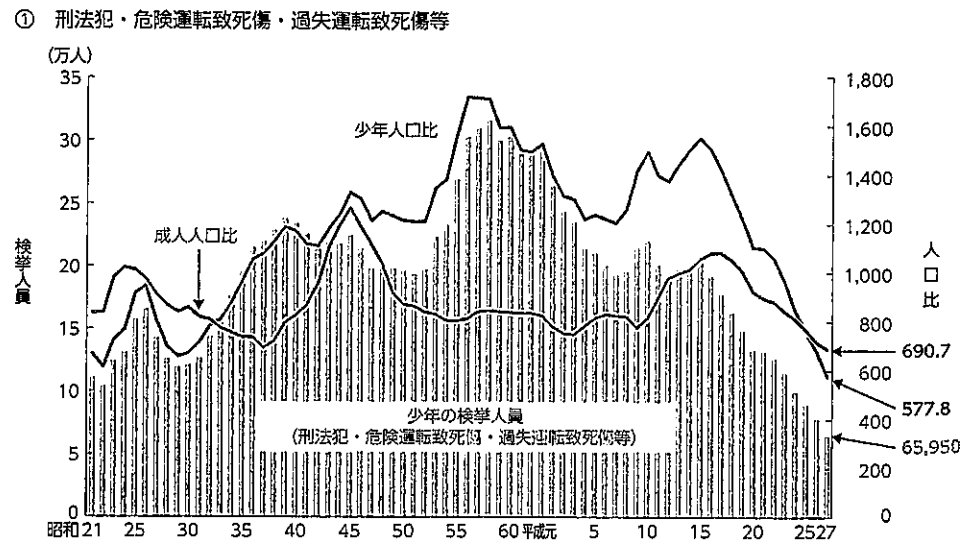


別紙解答用紙に解答すること。「小論文(論文I)」・「小論文(論文II)」とも必答

図一1～2、および表一1～2は平成28年版の犯罪白書における少年犯罪および窃盗に関する図表である。これを見て以下の設問(問1～問4)に答えなさい。

図一1 少年による刑法犯等 検挙人員・人口比の推移 (昭和21年～平成27年)

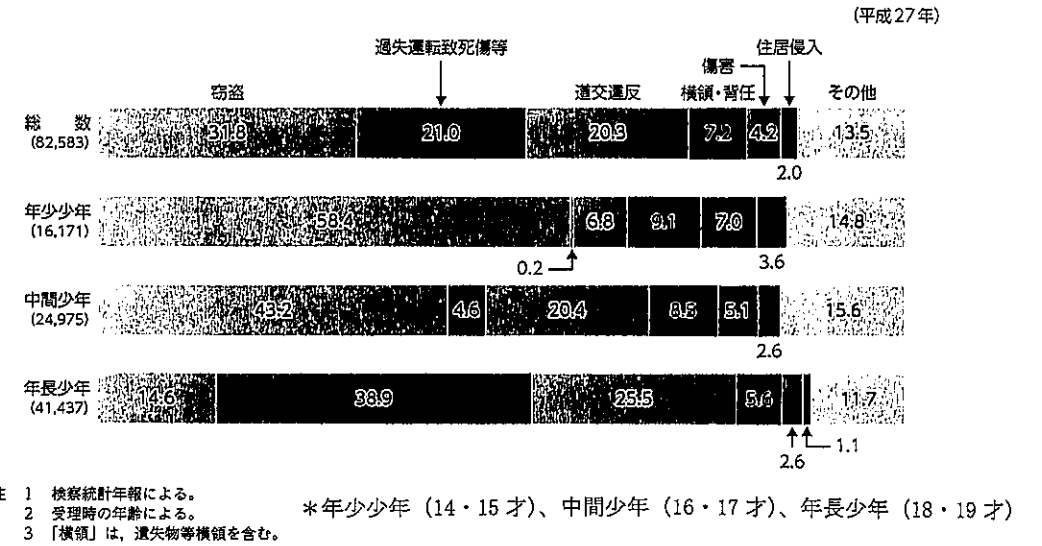


表一1 少年による刑法犯 検挙人員・少年比 (罪名別, 男女別) (平成27年)

罪名	総数	少年比	検挙人員		少年比
			男子	女子	
総数	49,248 (100.0)	13.6	42,552	6,696	19.8
殺人	64 (0.1)	9.4	58	6	7.0
強盗	437 (0.9)	5.7	412	25	22.0
放火	83 (0.2)	12.0	73	10	13.2
強姦	107 (0.2)	0.9	106	1	11.3
暴行	1,811 (3.7)	8.4	1,658	153	7.0
傷害	3,612 (7.3)	8.8	3,294	318	16.0
恐喝	663 (1.3)	8.4	607	56	29.5
窃盗	29,662 (60.2)	16.4	24,783	4,879	22.8
詐欺	896 (1.8)	14.8	763	133	8.5
横領	6,398 (13.0)	9.4	5,795	603	26.2
遺失物等横領	6,356 (12.9)	9.5	5,755	601	27.2
強制わいせつ	596 (1.2)	0.8	591	5	20.9
住居侵入	1,619 (3.3)	9.5	1,466	153	34.5
器物損壊	1,250 (2.5)	10.5	1,119	131	20.4
その他	2,050 (4.2)	10.9	1,827	223	13.8

注 1 警察庁の統計による。
2 犯行時の年齢による。
3 検法少年の補導人員を含む。
4 「遺失物等横領」は、横領の内数である。
5 ()内は、構成比である。

図一2 犯罪少年の検察庁新規受理人員の罪名別構成比 (年齢層別) (平成27年)



表一2 各国における窃盗の発生件数及び発生率の推移 (2009年～2013年)

年次	窃盗		侵入盗		自動車盗		その他の窃盗	
	発生件数	(発生率)	発生件数	(発生率)	発生件数	(発生率)	発生件数	(発生率)
2009年	9,337,060	(3,039.1)	2,203,313	(717.1)	795,652	(259.0)	6,338,095	(2,063.0)
2010年	9,112,625	(2,940.7)	2,168,459	(699.8)	739,565	(238.7)	6,204,601	(2,002.3)
2011年	9,052,743	(2,897.9)	2,185,140	(699.5)	716,508	(229.4)	6,151,095	(1,969.0)
2012年	9,001,992	(2,859.6)	2,109,932	(670.2)	723,186	(229.7)	6,168,874	(1,959.6)
2013年	8,632,512	(2,722.0)	1,928,465	(608.1)	699,594	(220.6)	6,004,453	(1,893.3)

年次	窃盗		侵入盗		自動車盗		その他の窃盗	
	発生件数	(発生率)	発生件数	(発生率)	発生件数	(発生率)	発生件数	(発生率)
2009年	916,310	(719.6)	148,772	(116.8)	108,799	(85.4)	658,739	(517.3)
2010年	853,104	(670.0)	136,750	(107.4)	98,266	(77.2)	618,088	(485.5)
2011年	803,249	(631.2)	126,382	(99.3)	94,100	(73.9)	582,767	(458.0)
2012年	743,176	(584.5)	115,337	(90.7)	81,751	(64.3)	546,088	(429.5)
2013年	677,960	(533.9)	107,313	(84.5)	72,971	(57.5)	497,676	(391.9)

* ()内は、発生率(人口10万人当たりの発生件数)である。

2021 年度 SF 入学試験	学部	社会学部	試験科目	小論文(論文 I)
--------------------	----	------	------	-----------

別紙解答用紙に解答すること。

設問

- 問 1 図-1 にもとづき、昭和 21 年～平成 27 年までの少年による刑法犯等検挙人員・人口比の推移の特徴について説明しなさい。
- 問 2 表-1 にもとづき、平成 27 年の少年による刑法犯検挙人員の罪名別の特徴、および男女の違いについて説明しなさい。
- 問 3 図-2 にもとづき、平成 27 年の犯罪少年の検察庁新規受理人員の構成比について、年少少年、中間少年、年長少年を比較しそれぞれの特徴を説明しなさい。
- 問 4 表-2 にもとづき、2009 年～2013 年における米国と日本の窃盗事件を比較し、それぞれの特徴、および米国と日本それぞれの 5 年間の変化について説明しなさい。

以上

別紙解答用紙に解答すること。

「小論文(論文Ⅰ)」・「小論文(論文Ⅱ)」とも必答

次の文章を読んで、問1から問3に解答しなさい。

「スポーツは人生のおもちゃ売り場だ」。名スポーツライターのジミー・キャノンはそう言った。スポーツはつらい日常や、政治や経済といった深刻な問題のなかで格好の気晴らしになる。スポーツはゲームであり、プレイや観戦は気持ちを浮き立たせ、精神を落ち着かせる。

しかし我々学者は、キャノンの言葉を額面どおり受け止めるばかりで、スポーツを研究することを怠り、そこに隠された意味に気づかないままだったようだ。スポーツは単なる楽しいゲームをはるかに超えたものだ。キャノンら多くの方はそれに前から気づいている。

現在の組織化されたスポーツのほとんどは、19世紀に基本形が定まり、150年の近代史のなかで時代を反映しながら少しずつ変わってきた。スポーツは巨大ビジネスであり、国や地域への愛情表現でもある。マスメディアに科学、日常会話、感情、男女平等、人種、ジェンダー、紛争、性格などさまざまなものへの影響も大きい。またその中身は日課のジム通いから地元のテニスコートでの遊びの試合、はたまた4年に1度の祭典オリンピックまでさまざま、近代社会の中心にはスポーツがある。

スポーツはおもちゃ売り場というキャノンの比喩は含蓄に富む。玩具販売が人々の遊び心を満たすための真剣なビジネスであるのと同じように、スポーツも真摯な非日常だ。真剣な遊び、全力を要求される余暇活動であり、肉体的負担はもちろん集中力や情熱も必要とされる。プロスポーツはそうした矛盾の極致だろう。遊んでお金をもらおうという図式は、働いてお金を稼ぎ、余った時間で遊ぶという常識に反して見える。スポーツとアマチュアリズムをめぐる1世紀以上もの議論は、人々がプロスポーツに違和感を抱いていることの証明だ。

.....

わたしは分析の対象を球場などの1つの場所やチーム、ファンに絞るのではなく、こうした場所や集団が不可欠な要素として相互に絡み合いながら、もっと大きなものをかたちづくり、それが阪神タイガースの「スポーツワールド」という集合的な存在を成していると主張したい。関西の3球団を比較検討するなかではっきり感じたのは、「阪神タイガースの野球」はグラウンドへ出て試合に臨む9人の選手や、9イニングのゲームをはるかに超えたものだという事だった。阪神タイガースは選手と監督、コーチから成るチームで、大所帯だ。またタイガースは球団でもあり、チームの裏側には現場を管理するフロントがいる。およそ100人ほどのフロント職員の中には、経営幹部もいれば、スカウトやトレーナー、会計士、広報などの専門職も、一般の事務職もいる。そして最後に、阪神タイガースは企業組織でもある。実態は阪神電気鉄道の子会社で、オーナーは親会社の社長や会長だ。しかも、タイガース野球の広大な世界はこれで終わりではない。球団を収めるハコとして阪神甲子園球場があり、毎年60日以上もの試合開催日には、威勢のいいファンが大挙して訪れる。

オフィスや練習施設、選手寮、甲子園以外の開催球場、春季のキャンプの合宿地など、タイガースをめぐる「場所」は甲子園周辺に収まらない広がりを持っている。

また、タイガースという組織の周辺にはさまざまなメディアがいて、チームに影響を及ぼしている。番記者にカメラマン、ライター、編集デスク、テレビやラジオの実況に解説者は、チームと球団、会社について報じることに毎日12時間を費やす。球場へ足を運び、テレビをつけ、新聞に目をとおし、ラジオに耳を澄ませる無数のファンは、試合やチームの話題を幅広く追いかけて、知識も豊富だ。タイガースファンは甲子園のみならず、呑み屋や家庭、仕事場など、関西内外のあらゆる場所にいる。

もちろん、タイガース野球の中心はグラウンド上で繰り広げられる攻防であり、非常に楽しいが、タイガースワールドは膨大な数のキャストの密な交流によって成り立っている。それは人生と生活とアイデンティティー、夢と落胆、利益と享楽から成る世界だ。

ウィリアム・W・ケリー (2019) 『虎とバット：阪神タイガースの社会人類学』ダイヤモンド社 より抜粋。

問1：著者は、「プロスポーツはそうした矛盾の極致だろう」と述べているが、そこにはどのような矛盾があると書かれているのか。説明せよ。

問2：著者は、「阪神タイガースの野球」はグラウンドへ出て試合に臨む9人の選手や、9イニングのゲームをはるかに超えたものだと述べているが、それでは他にどのような人や場所が「阪神タイガースの野球」には含まれると述べているのか。説明せよ。

問3：あなたの知っている野球以外のスポーツをひとつ挙げ、選手以外のどのような役割の人びとが、そのスポーツを成り立たせているのか、可能な限り詳細に説明せよ。

以上